

2024年3月



4月より「カフカ・フェスティバル」開幕 都内でカフカ没後100年記念イベントが開催

KAFKA FESTIVAL

プラハ生まれの作家フランツ・カフカ（1883年-1924年）の生誕140周年（2023年）、没後100年（2024年）を記念し、チェコ、ドイツ、オーストリア、ポーランドの在日文化機関は「Kafka Projekt 23→24」と題して、カフカの作品やその影響をテーマにしたイベントを開催してきました。2024年春には、プロジェクトの締めくくりとなる「カフカ・フェスティバル」をお届けします。ウォールアート、パネル展示、コンサート、VR、ゲーム、トークセッションなどの多彩なプログラムを企画して、皆様をお待ちしております。

[Kafka Projekt 23→24 公式ウェブサイト](#)

EVENT LIST

WALL ART PROJECT

チェコとオーストリアの2人の現代アーティストによる、カフカからインスピレーションを受けて制作したアートワークを渋谷駅前の仮囲いに掲示します。

- 会期：2024年4月1日（月）～4月10日（水）
- 場所：渋谷駅ハチ公前広場・北面仮囲い
- 参加アーティスト：[ヤクブ・マトウシュカ aka Masker](#)（チェコ）、[ニコラス・マーラー](#)（オーストリア）
- 共催：チェコセンター東京、ゲーテ・インスティトゥート東京、オーストリア文化フォーラム東京、ポーランド広報文化センター
- 協力：一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント
- 後援：渋谷区



©Jakub Matuška aka Masker

Nur im Traum bin ich
so unheimlich.



©Nicolas Mahler

EXHIBITION

展示「フランツ・カフカ 時代の子であり、現代の人」

カフカの生涯を、チェコの作家ラデック・マリーと挿絵家レナータ・フチーコヴァーによるパネルで振り返る展示を行います。会場ではほかにも、ヤクブ・マトウシュカ aka Masker によるアート原画の展示、フランツ・カフカをテーマにしたゲームの紹介も行います。

- 会期：2024年4月1日（月）～5月20日（月）
- 開館時間：10:00～19:00
- 会場：チェコセンター東京（渋谷区広尾 2-16-14 チェコ共和国大使館内）
- 主催：チェコセンター東京
- 詳細：<https://tokyo.czechcentres.cz/ja/program/vystava-franz-kafka>



現代の子であり、
現代の人

フランツ・カフカ

2024 4.1 [MON] >> 5.20 [MON]

チェコセンター東京 東京都渋谷区広尾2-16-14 tokyo.czechcentres.cz



VR INSTALLATION

VR インスタレーション「変身 - VRwandlung」

フランツ・カフカの『変身』をVR化したインスタレーションでは、体験者は虫へと変身した物語の主人公グレゴール・ザムザとして、その世界に没入します。虫の手足で鍵を見つけ、閉ざされた部屋のドアを開けることはできるでしょうか？



- 会期：2024年4月9日（火）～14日（日）
- 時間：12:00～19:00
- 会場：ゲーテ・インスティトゥート東京 ホワイエ 〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館内
- 主催：ゲーテ・インスティトゥート東京
- 詳細：<https://www.goethe.de/japan>（近日中にイベント情報を掲載予定）

CONCERT

音楽イベント「カフカ達式 詩と即興のライブコンサート」

ゲーテ・インスティトゥート東京はライブコンサートという形で音楽を提供し、文学と音楽のつながりを問いかけます。巻上によるカフカの詩の朗読からライブは始まり、朗読によって呼び起こされる



イメージや音をもとに、山本とオルークが即興で参加します。

- 日時：4月12日（金）19:00開演（18:30開場）、21:00終演予定
- 場所：ゲーテ・インスティトゥート東京 ホール 〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 ドイツ文化会館内
- 出演者：カフカ達式（Kafka-Ishiki / ジム・オルーク、山本達久、巻上公一）

- 料金：前売 2,500 円／当日 3,000 円（共に税込み、ドリンク代込み）
- チケット購入：(Peatix：<https://kafka-ishiki.peatix.com>)
- 主催：ゲーテ・インスティトゥート東京
- 詳細：<https://www.goethe.de/japan>（近日中にイベント情報を掲載予定）

SEMINAR

セミナー「カフカとシュルツ」

- 日時：2024 年 4 月 20 日（土）15 時～
- 会場：東京大学本郷キャンパス法文 2 号館 2 番大教室
- 内容：
あいさつ：ウルシュラ・オスミツカ（ポーランド広報文化センター所長）
 1. 『フランツ・カフカ』映画解説：久山宏一（東京外国語大学等非常勤講師）
 2. 映画上映：ピョートル・ドゥマワ監督の映画『フランツ・カフカ』（1991 年、ポーランド、16 分）
 3. 講演：加藤有子（名古屋外国語大学教授）
「カフカ、ブルーノ・シュルツ、E.M.リリエン——中東欧ユダヤ系作家・画家の文化混淆性」
司会・閉会の言葉：阿部賢一（東京大学准教授）
- 共催：ポーランド広報文化センター、東京大学人文社会系研究科現代文芸論研究室
- 詳細：
<https://instytutpolski.pl/tokyo/>（近日中にイベント情報を掲載予定）
<https://www.l.u-tokyo.ac.jp/genbun/>（近日中にイベント情報を掲載予定）
- 入場無料、予約不要



Bruno Schulz, Wikipedia, public domain